

熱中症による救急搬送状況（R6. 4. 29～7. 28）について

県内の熱中症による救急搬送人員について、令和6年4月29日（調査開始日）から7月28日までの状況を取りまとめましたので、その概要を公表します。

○ 令和6年4月29日から7月28日までの県内における熱中症による救急搬送人員は、267人（速報値）でした。

○ 年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。

- ・ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年の順。
- ・ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症。なお、死亡者は0名。

死 亡	初診時において死亡が確認されたもの
重 症	傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症	傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症	傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他	医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

- ・ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで公衆出入場所〔屋外〕、道路の順。

住 居	敷地内全ての場所を含む
工場、工事現場等	道路工事現場、工場、作業所等
田畑、森林等	田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業の場合のみ）
教育機関	幼稚園、保育園、小・中・高等学校、専門学校、大学等
公衆出入場所〔屋内〕	不特定者が出入りする場所の屋内部分 （例：劇場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場 等）
公衆出入場所〔屋外〕	不特定者が出入りする場所の屋外部分 （例：競技場、各対象物の屋外駐車場、駅（屋外ホーム）等）
道 路	一般道路、歩道、有料道路、高速道路
そ の 他	上記に該当しない項目

○ 直近1週間（7月22日～7月28日）における救急搬送人員（速報値）

搬送人員	年齢					傷病程度（初診時）				
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
54	0	1	7	10	36	0	1	18	26	9
発生場所										
	住居	工事現場、工場等	田畑、山・川等	学校等	公衆出入場		道路	その他		
					屋内	屋外				
	27	6	0	2	6	8	5	0		

県内の熱中症による救急搬送状況(R4～R6)

1 年齢及び傷病程度(初診時)

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和4年 (4/25～10/2)	553	0	2	68	141	342	1	10	167	347	28
	(構成比)	0.0%	0.4%	12.3%	25.5%	61.8%	0.2%	1.8%	30.2%	62.7%	5.1%
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	0	7	96	343	668	4	45	276	761	28
	(構成比)	0.0%	0.6%	8.6%	30.8%	60.0%	0.4%	4.0%	24.8%	68.3%	2.5%
令和6年 (4/29～7/28)	267	0	2	33	57	175	0	4	75	169	19
	(構成比)	0.0%	0.7%	12.4%	21.3%	65.5%	0.0%	1.5%	28.1%	63.3%	7.1%
対R5同期比 (5/1～7/30)	▲ 120	+ 0	▲ 1	▲ 4	▲ 52	▲ 63	▲ 2	▲ 13	▲ 26	▲ 83	+ 4
対R4同期比 (5/2～7/31)	▲ 104	+ 0	+ 0	▲ 25	▲ 36	▲ 43	▲ 1	▲ 4	▲ 20	▲ 79	+ 0

【集計対象】 調査期間中に救急搬送した熱中症（疑い含む）の傷病者の人員数

2 発生場所別

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和4年 (4/25～10/2)	553	237	57	25	37	26	77	61	33
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	523	122	41	38	66	131	126	67
令和6年 (4/29～7/28)	267	113	20	6	14	25	40	32	17
対R5同期比 (5/1～7/30)	▲ 120	▲ 62	▲ 13	▲ 9	+ 0	▲ 2	▲ 14	▲ 12	▲ 8
対R4同期比 (5/2～7/31)	▲ 104	▲ 51	▲ 16	▲ 11	▲ 17	+ 7	▲ 15	▲ 1	+ 0

